



年の瀬 ～大いなる活躍で締め括り～

● 各クラブから朗報相次ぐ

1. 男子サッカー部 「10年ぶりの選手権県3位」

第91回全国高校サッカー選手権大会広島県大会において、10年ぶりにベスト4に進出しました。11月11日(日)には、広島広域公園第一球技場で決勝進出をかけて前年度覇者の山陽高校と準決勝戦を戦いました。惜しくも敗れたものの、第3位という結果を残し、「平成の強豪」とも呼ばれる沼高サッカー部の今後の活躍を期待させる戦いぶりでした。準決勝戦はあいにくの雨に見舞われましたが、吹奏楽部が応援に駆けつけ、素晴らしい演奏で、応援をそして会場の雰囲気盛り上げました。



2次リーグの城北高校戦

2. 女子サッカー部 「初の中国大会出場」

10月28日(日)に、第21回全日本高校女子サッカー選手権大会広島県大会の3位決定戦が行われました。廿日市高校と対戦し、PK戦の末に勝利して第3位になり、中国地域の大会に出場しました。中国大会では岡山の作陽高校に敗れましたが、「なでしこブーム」にも乗って、今後ますます活躍してくれることでしょう。



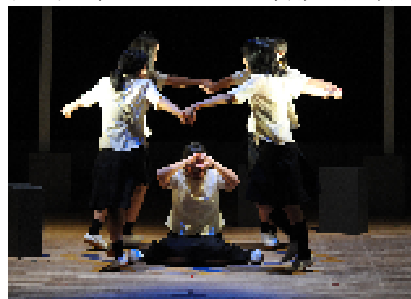
3. 剣道部 「男子団体優勝し全国大会出場決定、女子は県3位」

11月11日(日)に行われた広島県高等学校新人剣道大会において、団体戦の部で男子が優勝し、中国高等学校新人剣道大会並びに、来年の3月27・28日に愛知県春日井市で行われる全国高等学校剣道選抜大会への出場を決めました。女子も3位になり、中国新人大会への出場権を獲得しました。また、形の部では、女子の新原・花房組が準優勝しました。中国新人大会及び全国選抜大会では、頂点を目指しての奮闘を期待します。



4. 演劇部 「18年ぶりの全国大会出場決定」

11月10・11日に行われた県大会で金賞を受賞して中国大会への出場を決めていた演劇部は、11月23・24日に行われた第50回中国地区高等学校演劇発表会で、ヒロシマの原爆を題材にした「うしろのしょうめんだあれ」を上演し、優秀賞(全国高等学校演劇協議会会長賞)を受賞しました。それにより、来年8月に長崎県で開催される全国高等学校総合文化祭への出場権を得ました。沼高演劇部の全国大会出場は18年ぶりです。くしくも、全国大会はヒロシマと同じ被爆地のナガサキです。今後も稽古を重ねて、全国大会でも素晴らしい演技を見せ、平和を祈るメッセージを全国に届けてほしいと思います。

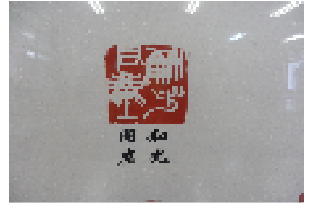


5. 書道部 「花本君 全国大会出場決定」

先日行われた、平成24年度広島県高等学校書道展において、2年1組の花本友真君の作品が優秀賞を受賞し、来年8月に長崎県で開催される全国高等学校総合文化祭に県代表として参加することが決まりました。



花本君の作品(全体)



作品の一部を拡大

6. 女子バレーボール部 「春高バレー県大会3連覇」

11月25日(日)に東区スポーツセンターで行われた第65回全日本バレーボール高等学校選手権大会広島県大会決勝において、進徳高校をセットカウント3対1で破って優勝し、3連覇の快挙を達成しました。この優勝で、「春高バレー」の愛称で親しまれている全国大会への出場を決定しました。春高バレーは、年明けの1月5日から埼玉スーパーアリーナで開催されます。沼高バレー部は、1月5日に山梨県の増穂商業と1回戦を戦い、見事勝利すると6日に福井県の北陸高校と対戦する予定です。



第1セットは落としたものの、その後は盛り返して順調に得点を重ね...

試合後の記念撮影、手には「甞」の文字が

● 演劇鑑賞

11月8日(木)に、オペラシアターこんにゃく座による「オペラ ネズミの涙」を鑑賞しました。舞台は家の床下、ネズミ達が戦争を繰り広げる中、慰問活動を続ける劇団一座の物語。笑いあり涙ありの内容で、生徒達は皆、舞台に引き込まれている様子でした。普段の生活の中では、なかなか接する機会のない芸術に触れる大変貴重な体験になりました。



華やかな衣装も登場



大がかりなセットも使って

● 3年生「進路講演会」「保護者集会」

11月29日(木)に、河合塾 中四国営業部の立原 孝子(たつはら たかこ)さんを講師に招き、「志望校合格に向けて」と題した講演会を実施しました。「2013年度入試の展望」や「入試合格への必勝プラン」について説明していただき、生徒たちは、今後、何を考え何をなすべきかが明確になったと思います。また、講演会の後には、保護者集会が行われ、生徒たちが卒業式で胸に付ける「コサージュ」作りが行われました。保護者の方々は、一つひとつに思いを込めて、ていねいに作業を進めておられました。



河合塾 立原さんの講演



コサージュ作り